

大麦栽培ごよみ

全量1等で売れる大麦の生産を!!



令和元年 8 月
高岡市農業技術者協議会
高岡市農業協同組合
高岡農林振興センター

基本技術を守り、生育に見合った管理で収量・品質の向上を目指しましょう!

【目標】 単収 350kg/10a

1等比率 90%以上
整粒比率 80%以上
品質ランクA格付 100%

【栽培のポイント】

- ① 排水対策の徹底
- ② 土づくりの実践と的確な基肥施用
- ③ 適正な播種(時期に応じた播種量の遵守)
- ④ 雑草防除
- ⑤ 赤かび病等の適期防除

★麦は排水対策が重要

- 心土破碎により圃場の乾きを促進!
- ロータリの両サイドにサイドリッジを取り付け、播種同時作溝で湿害を防止!

★目標苗立数と播種量の目安

播種期	目標苗立数 (本/n ²)	播種量の目安 (kg/10a)	
		ドリル播	表面散播
9月下旬	140	6.0	6.5
10月上旬	150	6.5	7.0
10月中旬	200	8.5	9.0

★土づくり：pH6~6.5を目標に

資材名	耕起前
苦土石灰	100kg/10a以上
発酵ケイフン	150kg/10a

★基肥(基準施肥量) 土壌条件に応じた適正な基肥量の施用

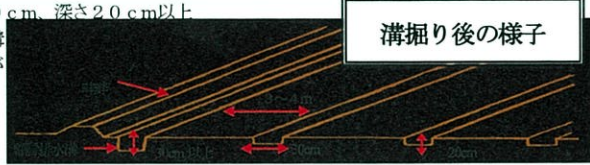
	LP大麦48号(肥効調節型肥料) kg/10a	
	ドリル播	表面散播
沖積砂壤土	45	50
沖積壤土	40~45	45
沖積粘質田		
洪積黒ボク		

(追肥) 原則として追肥は行ないませんが、生育状況に応じて雪消後に追肥を行う場合があります。
※詳細は管理情報等でお知らせします。

★基本防除

	液剤体系	粉剤体系	ラジヘリ体系
1回目薬剤 穂揃期(開花初め)	トップジンM水和剤 1,000倍(150L/10a)	トップジンM粉剤DL (4kg/10a)	トップジンMブル 8倍(0.8L/10a)
2回目薬剤 1回目の1週間後	シルベキアフロアブル 2,000倍(150L/10a)	ワグアップ粉剤DL (3kg/10a)	シルベキアフロアブル 16倍(0.8L/10a)

3~4m間隔に幅30cm、深さ2.0cm以上の溝を掘り、額縁排水溝
また、水吐尻に排水が流れるように横の溝もつなく。



溝掘り後の様子

生育ステージ



苗立



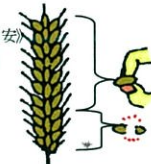
本葉6~7枚



幼穂形成期
(2月上旬)



穂揃期
(4月下旬)



成熟期
(6月上旬)

《刈取り適期の目安》
出穂後40~45日
子実水分30%

上部2/3がツメで抑えてもつぶれない。
下部1/3はボツンとつぶれる。

9月中・下旬

10月上旬

11~12月

1~2月

3月

4月

5月

6月

★耕起前の排水対策は、しっかりと行う

- 排水の徹底
- 赤かび病等の適期防除
- 心土破碎による心土破碎と弾丸暗建の施工
- スクリーンオーガ等による額縁排水溝の設置
- 水稲収穫後、速やかに排水対策を実施する
- 土壌 pH 6以上を目標として、耕起前に苦土石灰を10aあたり100kg以上施用する
- 土壌 pH の矯正
- 種子消毒
- 種子消毒を徹底し、病害虫の発生を防止する

薬剤消毒法
ベンレートT水和剤20を種子重量の0.5%を粉衣する。(種子10kgに水200mlを加えて種子を湿らせてから薬剤50g混和する。)

★適正播種量で苗立を確保する

- 排水溝は、随時手直しをする
- 除草剤の使用 雑草量が多い場合・ドリル播きに限る
- 播種量は、播種方法・播種時期に合わせて適正量を守る
- 基肥量は、土壌区分に応じて施用する
- 土が乾いた状態で耕起作業を行い、土を細かくする
- 一連の作業は1日で終了する

施肥・耕起・砕土・作溝・播種

排水溝の手直し(随時)

肥効調節型肥料(一発肥料)の場合、追肥は原則不要

★基本防除と適期刈取りで、高品質麦に仕上げる

- 刈取り適期は、子実粒がロウ状の硬さになり爪を立てて
- 清掃を徹底する
- 異種穀粒の混入を防止する為、コンバイン・乾燥施設の跡が残らない頃を目安にする
- 刈取り適期は、子実粒がロウ状の硬さになり爪を立てて
- 収穫後の管理
- すみやかに抜き取る
- カラスノエンドウの種子混入を防ぐため、発生したらなるので注意する
- 開花期に多雨、曇天が続くと赤かび病が発生しやすく
- 2回目・・・1回目の1週間後
- 1回目・・・穂揃期(開花初め)
- 赤かび病の防除
- 収穫後の管理
- でに耕起するなど病害虫の発生源とならないようにする
- 収穫後に大豆等の作付けを行わない場合は、7月上旬まで

栽培管理のポイント